

【競技名】NESTロボコンオリジナル「サッカーチャレンジ」

※変更点は赤字で示す

【競技紹介】

NESTロボコンオリジナル「サッカーチャレンジ」は、ロボカップジュニアのサッカールールを基にし、世界大会で行われている「スーパーチーム競技（他国のチームとチームを編成して挑む競技）」の方式を採り入れたオリジナル競技である。

1. NEST ロボコンのエントリーとチーム

NESTロボコンは、ロボット1台でエントリーすること。1台のロボットを2名以上で製作することも認める。NESTロボコンの全競技は、別のロボットの製作者（製作グループ）とチームを編成し競技を行う。チームの組み合わせは、NESTロボコン開催日の1週間前までに事前に公表される。

2. チーム編成

①サッカー競技では3名（ロボット3台）で1チームをつくる。

②競技区分

- (1) ワールドリーグ：ライトウェイト、~~オープン~~
- (2) 日本リーグ

3. 競技方法、回数

1試合は3対3で行う。参加チーム数により、試合数を決定する。

4. 適用ルール

ロボカップジュニアジャパンオープン2024名古屋ルールをベースに実施する

【ルールリンク先】

https://drive.google.com/file/d/15u0IVAN5hO97qxYn5w-fz31s9eHj4e_Z/view



上記ルールにくわえ、下記、特殊ルールを追記する。

【3対3特殊ルール】

(1)キックオフ

キックオフはキックオフ側チームゴール付近にある2か所の中立点いずれかから始める。

どちらからキックオフするかはチームキャプテンが選択する。

各チームのロボットは中央中立点より自陣側寄りのフィールド内いずれからでもスタートしてよい。

その際、チームメンバーであれば、誰でもスタートスイッチを押してよい。

(2)アウトオブリーチ

ボールが白いラインより出てフィールドに復帰できないとき、ボールを審判がフィールドに戻す。

その際、戻し先は審判から一番近いカーペット上に試合に影響の無いように置く。

(3)ハンドルの強度

ロボットが故障等で退場させられるとき、フィールド中央などにおいて審判の手が届かない場合、棒などで引っかけてロボットを撤去する。このことを考慮しハンドルには十分な強度を持たせること。

(4)フィールドは会場の状況によって床面に設置する場合がある。この場合、地磁気の影響等が考えられ得るので十分に対策を考慮しておくこと。

5.順位付け

グループの各試合結果の勝ち点、得失点差、総得点を合計し総合成績で順位付けを行う。

6.プレゼンテーション・ポスター

サイズはA3横とする。ロボット製作者（もしくはグループ）は事前に活動内容、戦略、ロボットの機構や動きの説明等をプレゼンテーション・ポスターにまとめ、競技会当日、会場に掲示しておかなければならない。

優秀なプレゼンテーション・ポスターを制作したロボット製作者（もしくはグループ）には、ベストプレゼンテーション賞が授与される。

7.賞

1) チーム単位で優勝・準優勝・第3位を表彰する。

※参加チーム数によって表彰チーム数を変更する場合がある。

2) 個人単位で得点王を表彰する。

3) ベストプレゼンテーション賞を設け、賞状を授与する。ベストプレゼンテーション賞は1台のロボットを製作した個人もしくはグループを対象とする。

8.フィールド

いわゆるビッグフィールドを使用する。フィールドは通常のフィールドの大きさの約2倍となる。ゴールサイズ、ペナルティエリア、アウトエリアサイズは通常フィールドと同じ。

※エントリーチーム数によって通常フィールドで協議を実施する場合がある。

